

動物用ワクチン・バイオ医薬品研究会 2014年秋 総会・シンポジウム プログラム

日時: 9月11日(木)13時00分～17時25分

場所: 北海道大学 高等教育推進機構

13:00～13:20 総会

13:25～17:25 シンポジウム

再生獣医療法の展望—新技術がもたらす可能性と課題—

～座長:平山 紀夫 氏 (麻布大学)～

13:25～14:35 I. 基調講演

(13:25～14:00) 1. 「日本の獣医再生医療の将来と問題点」

国立大学法人東京大学 佐々木 伸雄 氏

(14:00～14:35) 2. 「再生医療等製品の獣医療応用に向けて

—法的位置づけと技術的課題—」

農林水産省動物医薬品検査所 能田 健 氏

14:35～15:25 II. iPS細胞がもたらす可能性

(14:35～15:00) 1. 「iPS細胞由来の血小板の作出」

公立大学法人大阪府立大学大学院 稲葉 俊夫 氏

(15:00～15:25) 2. 「iPS細胞由来肝細胞を用いた医薬品安全性評価」

国立医薬品食品衛生研究所 石田 誠一 氏

15:25～15:35 ～～ 休 憩 ～～

～座長:佐々木 伸雄 氏 (国立大学法人東京大学)～

15:35～17:15 III. 再生獣医療法の臨床現場での課題

(15:35～16:00) 1. 「リンパ球を用いた細胞療法の現状とこれから」

公立大学法人大阪府立大学 嶋田 照雅 氏

(16:00～16:25) 2. 「骨再生と脊髄再生の実際」

日本獣医再生医療学会 岸上 義弘 氏

(16:25～16:50) 3. 「獣医療分野における細胞治療の提供体制について」

株式会社J-ARM 岡田 邦彦 氏

(16:50～17:15) 4. 「iPSの重度椎間板ヘルニアを原因とする急性期脊髄損傷に対する脊髄再生医療の効果」

倉敷芸術科学大学 田村 勝利 氏

17:15～17:25 IV. 総合討論

※ご講演ごとに5分間の討論を行います。

このシンポジウムは、日本獣医再生・細胞療法学会との共催で実施いたします。